

こうげ 65 議会

2022.2

巢狩山より
ご来光を拝む

輝く町へ

心新たに

令和四年

住 民 登 場 コーナー

中村老人クラブ会長 中原 剛さん(中村)

ペタンクを通して健康づくり！

会社を平成6年に定年退職した後、新吉富村時代から公民館長や体育協会の役員など皆さんのお世話をさせていただきました。

年齢と共に数年前からは、老人クラブのお世話をしながら健康づくりや仲間づくりのため同時期にペタンクを始め、皆さんとの交流を深めるなどまだまだ頑張ってお過ごししたいと思います。

これからも健康で、100歳までは老人クラブが推進している三大スポーツの一つ、ペタンク競技への参加を楽しみにしています。また、3人の孫も成人を迎え、ひ孫の誕生も楽しみにしています。今後も夫婦でいろいろ楽しみながら健康で頑張っていきたいと思います。



取 材 ノ ー ト

三田 敏和

福岡県の最東端にある上毛町。県内で一番早い初日の出を最高のロケーションで撮るため、私の卒業した旧東上小学校の校歌の歌いだしにも登場する有田の「巢狩山」の山頂を目指し、午前6時過ぎから雪が残る山道を懐中電灯の明かりを頼りに、40分かけて総勢20名で登りました。町民を代表？して令和4年最初のご来光を拝むことができ、まばゆいばかりの初日の出に感動。そして、全員で「おめでとうございます」と歓喜の雄叫びをあげました。

さて、令和4年度には新たな体育館が完成します。上毛の山々を見渡しながら、東上の町有林(瓦岳)から切り出す先人の苦労と自然の恵みを受け育った木材「京築ヒノキ」が、ふんだんに使われると思うとシャッターを押しながら興奮を抑えきれない瞬間でもありました。



▲新体育館に使用予定の木材など(東下の貯木場)

議会傍聴のご案内

3月定例会の予定

3月1日(火)午前10時
本会議(開会、議案の説明・質疑)

3月3日(木)午前10時
本会議(一般質問)

3月11日(金)午前10時
本会議(討論・採決)

日程については、変更になる場合があります。

会期日程は、議会運営委員会で協議され、定例会初日の本会議で決定されますので、詳しい内容については、議会事務局までお問い合わせください。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、傍聴席を18席とすることや入場時の検温などにご理解ご協力をお願いします。

■開催場所 たいへいの里(大平支所)2F議場

編集後記

三田 敏和

経済を好循環させるには

日本銀行の発表によると、家計の金融資産が2000兆円に迫っています。コロナ禍で外出が抑制され、消費を手控える傾向があることも、現預金などの資産残高を伸ばす一因になっていると思います。

今定例会の補正予算で、全町民へ3万円の生活支援金をお渡しすることができました。また、18歳以下の皆様への臨時特別給付金(10万円)も一括現金給付としました。それぞれ、ご家庭の状況は異なると思いますが、ぜひ消費に回していただいて、経済の好循環につながればと願っています。

今回の議会だよりも感染リスクを避けながら、特集記事を組んでみました。早く取材に応じてくださった皆様に感謝します。どうぞ、ご一読ください。



■議会広報特別委員会

委員長:三田 敏和 副委員長:岩花 寛之

委 員:荒牧 弘敏、廣崎 誠治、田中 唯登志、友岡 みどり、高西 正人

令和3年第4回定例会(12月議会)

会期:令和3年11月30日(火)～12月10日(金)

令和3年度 一般会計補正予算 町独自の生活支援給付金などの補正予算 **2億6675万円追加可決!** 2

クローズアップ! Close-up! 道の駅「しんよしとみ」 4

議案議決結果及び議員別賛否一覧表 6

ここが聞きたい! 6人登壇 7

報告 常任・議会運営委員長・副委員長研修会、町村議会広報研修会 13

住民登場コーナー・取材ノート・議会傍聴のご案内・編集後記 14



一般会計補正予算（第8号）

◎子育て世帯への臨時特別給付金

対象は18歳以下一人当たり10万円の支援を行う。（現金支給）

6250万円

条例の改正

◎子育て世帯の負担軽減

上毛町国民健康保険税条例の一部を改正

全世帯の未就学児を対象に、均等割について5割を公費により軽減するもの。

※令和4年度から施行



◎出産育児一時金42万円の維持

上毛町国民健康保険条例の一部を改正

少子化対策としての重要性から支給総額を42万円に維持するため、一部減額分の4000円を出産育児一時金で増額するもの。

問 出産する親のメリットは。

答 出産に係る経費負担が増えずに維持される。

指定管理者の指定

道の駅「しんよしとみ」の指定管理者として、引き続き「しんよしとみ街づくり有限会社」を指定するもの。（4、5ページに特集記事）

指定期間：令和4年4月1日から令和7年3月31日（3年間）

指定管理料：2550万円（850万円/年）

令和3年第3回臨時会

令和3年第3回臨時会が11月19日（金）に開催されました。町長から3期目の所信表明があり、その後、人事案件3件の審議と選挙を行いました。

上毛町監査委員の選任

●監査委員 高野 正博さん（再任）

上毛町公平委員会委員の選任

●委員 西 康雄さん
田井 啓佐さん
沼野 淑子さん
（全員再任）

上毛町教育委員会委員の任命

●委員 筒井 さゆりさん（新任）

上毛町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙

●委員 小林 正文さん（再任）
穴田 正勝さん（再任）
中尾 哲治さん（再任）
定講 健さん（新任）
●補充員 宮本 武さん（新任）
木藤 政夫さん（再任）
矢岡 隆さん（再任）
城元 和視さん（再任）

令和3年第4回定例会

補正予算

一般会計（3件）

新型コロナウイルス感染症対策

町独自で働く世代を中心に生活支援給付金など

2億6675万円追加



令和3年第4回定例会（12月議会）が、11月30日（火）から12月10日（金）までの11日間の会期で開催されました。

コロナ対策として町独自の上毛町生活支援給付金をはじめとした費用などが計上された一般会計補正予算や国民健康保険税条例の改正などの条例案を審議し、いずれも可決しました。

一般会計補正予算（第6号）

◎上毛町生活支援給付金

対象は19歳から74歳で、一人当たり3万円の現金給付

1億4550万円

一般会計補正予算（第7号）

◎旧ふるさと手づくり村解体工事費

問 解体工事費の中に敷地整備費は含まれているか。

答 敷地整備費まで含まれている。

2164万円



◎除草作業等委託業務

問 作業箇所は。

答 町道など5路線、7箇所を計画している。

250万円



▲除草された町道（下唐原）

◎ワクチン接種予約コールセンター運営業務委託料

問 ワクチン接種予約コールセンター運営業務委託料は全体でいくらになるのか。

答 令和4年9月までの見積りで1300万円程になる。3回目の接種を令和4年2月から予定している。

645万円

◎農業農村整備事業（ため池ハザードマップ作成業務委託料）

尻高地区5箇所のため池が対象

800万円



▲対象になっている新岩屋池（尻高）



What is 道の駅?

道の駅は「休憩機能」に加え、「情報発信機能」や「地域の連携機能」の3つの目的に全国に設置され、約1200か所に拡大しました。

我が町の道の駅はどうなっているのでしょうか？

指定管理者制度

指定管理者制度は、公の施設の管理に民間の能力を活用し、住民サービスの向上と経費の削減等を図ることを目的として創設されました。道の駅「しんよしみ」については、平成18年度から指定管理者制度を導入し、「しんよしみ街づくり有限会社」が運営しています。



花公園

道の駅に隣接する大ノ瀬官衛遺跡周辺はコスモスの名所として近隣はもちろん、北九州や大分からも来場されています。長らく大ノ瀬自治会などが管理をしていましたが、高齢化などによる作業負担から令和元年度からは町が業者に委託しています。



ふるさと納税

平成30年からふるさと納税の返礼品を出品し、売上げが伸びました。特に令和2年度は、コロナ対策支援助成を伴う「めんたい」の売上げが伸びています。



ピッツェリア フィエロ

平成28年10月、道の駅の敷地内にピッツェリア フィエロがオープンしました。物産館との相乗効果を図ることを目的とし、現在はランチ営業の他、イベント出店や催事のオードブルなどにも力を入れています。



買い物代行サービス利用者 石井 ミナ子さん(東上)

ほんとうに助かっています。今まではバスを利用して買い物をしていたのですが、バス停から家までが坂で苦労していました。



出荷者 上西 勝昭さん、久美子さん(成恒)

観光バスの立寄りが少なくなりました。新鮮な野菜が売りなのでお客さんが増える策を考えてほしいです。



道の駅「しんよしみ」駅長 相良 康德さん

普段使いのお店(道の駅)として利用していただきたい。多くの皆様のご来店をお待ちしています！

ご存じですか？道の駅のこんなサービス

道の駅では平成24年から買い物代行サービスを行っています。毎週月・水・金曜日に道の駅で販売している商品を配送料無料でご自宅までお届けしています。

道の駅は地域を支える「地域の駅」へ 注文専用電話番号 080-3984-7088

運営会社・行政・議会も頑張りますので、住民の皆様も応援をお願いします。



道の駅「しんよしみ」

議会としての関わりは？



令和3年第4回議会において、道の駅「しんよしみ」の指定管理者の指定について審議し、議決しました。

今回の特集記事では道の駅の経営についての町の取り組みと議会のチェック機能について特集しました。

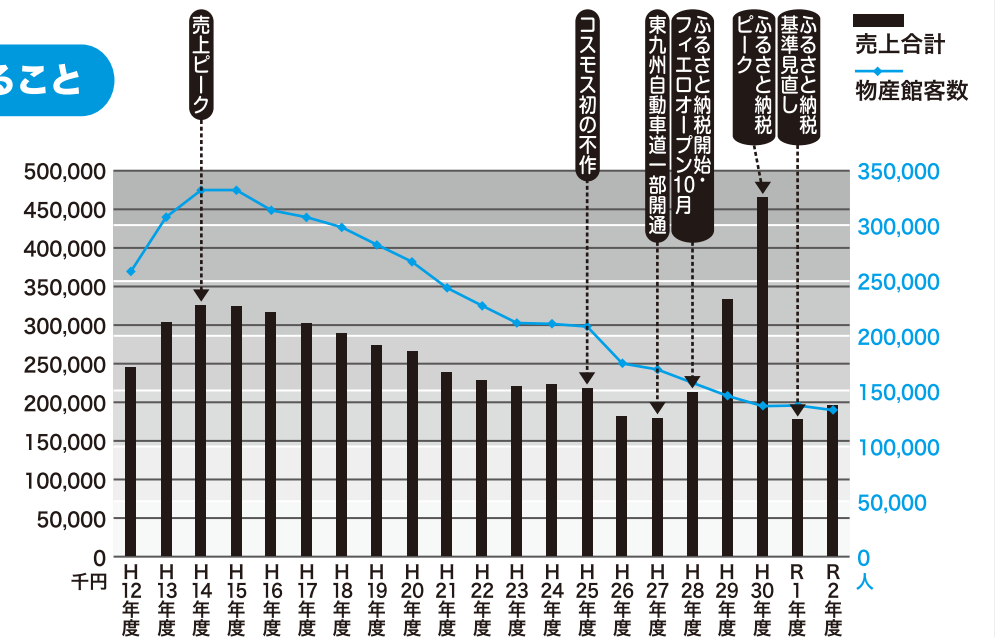


グラフからわかること

平成12年オープンの道の駅「しんよしみ」は、3年目以降は来場数、売上とも下降線をたどっていました。

その間、コスモス畑の整備などを行いました。近隣同様施設やスーパーの出店、東九州自動車道の開通などで苦戦が続きました。

ここ数年はふるさと納税などで売上げが好調であったところに、新型コロナウイルスの影響を受けています。



チェック機能としての 議会の役割 ①

議会では、毎年6月議会において道の駅「しんよしみ」の決算と事業計画の報告を受けています。

また、通常指定管理期間は3年になっており、今議会のように指定管理者の指定を行っています。



チェック機能としての 議会の役割 ②

決算報告では財務諸表等を確認し、事業計画では当該年度の取り組み事項を確認しています。

また、一般質問等において各議員から運営目的に沿った健全な運営になるようチェックを行っています。



過去の一般質問から

問東九州自動車道が全線開通するが、町長は社長として今後どう考えているか。

答今が正念場。立て直しを行わなければ存続も危ぶまれる。問道の駅は町の持ち物だと考える住民も多い。もっと協力してもらえよう体制づくりを。

答主役はお客様。満足してもらえるサービスや品揃えを行う。問道の駅の本来の姿は。

答農林産物直売所として農業者の所得生産意欲の向上を目的としている。

問毎月の監査による実績の把握や予測は。

答毎月の指定管理者からの報告と3か月毎の公認会計士からの報告を受けている。

問今後の着地点のイメージは。

答信頼回復、商品不足の解消により競合施設に負けない魅力の創出が必要。民間活力も視野に入れ周辺施設の整備を行う。



映像配信の注意事項

- ・ 配信している映像の著作権は、当町議会に帰属します。そのため、配信された映像、画面あるいは内容を無断で複製、改変したり、他のウェブサイトや著作物等へ転載することを禁止します。
- ・ 配信された映像は、当町議会の正式な記録ではありません。本会議の公式な記録は、本会議録(文字)をご覧ください。
- ・ YouTube(ユーチューブ)は民間の動画配信サービスであり、いかなる場合でも当町議会は、利用者がYouTube(ユーチューブ)にアクセスしたために被った損害、損失に対して、一切の責任を負いません。

■各QRコードを読み取ることで、一般質問の様子を動画でご覧いただけます。
なお、お使いの環境によっては、QRコードが正しく読み取れない場合があります。

第4回定例会一般質問(12月2日(木)・3日(金))

高西 正人 議員

基金の運用益はいくらか

会計管理者

運用益は約1億1000万円



図 地方自治体に設置されている基金を一般家庭に例えると貯金や積立金と言えるが、現在町にある基金の種類の違いは。総務課長 大別すると2種類ある。一つは特定の目的のために財産を維持し資金を積み立てるための特定目的基金。もう一つは、特定の目的のために定額の資金を運用するための定額運用基金。

図1-4 ある基金の合計額を令和2年度決算書で見ると、約8億8千万円であり、その内訳は預金約5億8千万円、有価証券3億0千万円などである。これら基金の運用方法は。

会計管理者 保有する公金に關しては、安全性の確保、公正・適正な管理運用に努めている。基金については、定期預金や国債等の有価証券による運用を行っている。定期預金については、ペイオフ対策の一環として金融機関7社に分散している。有価証券については、国債、地方債などの安全性の高い債券を購入して運用している。

図 基金の運用益は。会計管理者 令和3年度の見込みが、定期預金が約53億円の運用額で、運用益は約260万円。有価証券が約38億円の運用額で、運用益が約2770万円。合計で3000万円を超える見込み。平成28年度の本格運用開始の時代から6年分を計算すると、有価証券の運用益は1億1000万円を超える見込みとなる。

図 サステナビリティ・グリーン・環境・社会への投資の考えは。会計管理者 再生可能エネルギーなどの環境改善に資するグリーンボンド、健康・教育など社会課題の解決に資するソーシャルボンド、環境・社会の持続性に貢献する事業に投資するサステナビリティ・ボンドとなっているが、昨年度、まず、独立行政法人国際協力機構JICAが発行するソーシャルボンドに1億円、そして独立行政法人住宅金融支援機構の発行するグリーンボンド



その他の質問事項について
○交流人口増加策について

議案議決結果及び議員別賛否一覧表

令和3年第3回臨時会				令和3年第4回定例会						
選挙第2号	同意第4号	同意第3号	同意第2号	議案第54号	議案第53号	議案第52号	議案第51号	議案第50号	議案第49号	議案名
上毛町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について	上毛町公平委員会委員の選任について	上毛町教育委員会委員の任命について	上毛町監査委員の選任について	令和3年度上毛町一般会計補正予算(第8号)	令和3年度上毛町一般会計補正予算(第7号)	令和3年度上毛町一般会計補正予算(第6号)	指定管理者の指定について(道の駅しんよしとみ)	上毛町国民健康保険条例の一部を改正する条例について	上毛町国民健康保険条例の一部を改正する条例について	
				賛成討論 ●宮本議員 本町の町づくりや生活環境改善のための重要施策であり、住民にとって必要不可欠なものと考えるため。	反対討論 ●茂呂議員 旧ふるさと手づくり村エリア内の運営は、住民の知らないところで決められ、住民自治の機能が果たされていないため。					
				○	○	○	○	○	○	高西 正人
				○	○	○	○	○	○	友岡みどり
				○	○	○	○	○	○	岩花 寛之
				○	○	○	○	○	○	田中唯登志
				○	○	○	○	○	○	廣崎 誠治
				○	○	○	○	○	○	宮本理一郎
				○	○	○	○	○	○	峯 新一
				○	○	○	○	○	○	三田 敏和
				○	○	○	○	○	○	安元 慶彦
				○	○	○	○	○	○	茂呂 孝志
				○	○	○	○	○	○	荒牧 弘敏
				可決	可決	可決	可決	可決	可決	議決結果

※議長は採決に加わらない。○は賛成、×は反対、欠は欠席、退は退席



宮本 理一郎 議員

学校現場におけるICTへの所感は

町長

教師の熱量と環境整備が最も重要



動画へGO!

三田 敏和 議員

町長3期目の抱負は

町長

ブランディングが勝負の鍵



動画へGO!



図2期目の成果は。

町長 前半、ふるさと納税などの努力で蓄えができ、後半の2年間で様々な事業に充てた。コロナ禍で様々な助成ができ、遺漏なく事業が推進できたと感じている。

図九州一輝く町への目標に向けての新たな施策は。

町長 1万人構想の実現に向け、マスタープランが不可欠。しっかりとブランディングできるかが勝負の鍵とされている。



▶水面に映えるイルミネーション
(大池公園)

図職員の見集が必要不可欠だが。

町長 私一人でできるものではない。職員が一丸となって突き進んで行くことが大事。担当課と十分に協議したい。

第2次後期総合計画の策定は

図進捗状況は。

企画情報課長 関係組織での検討をすすめ、2月頃には経過の報告をしたい。

図上毛町にとっての位置づけは。

企画情報課長 全ての計画の基本、最上位に位置づけられる。

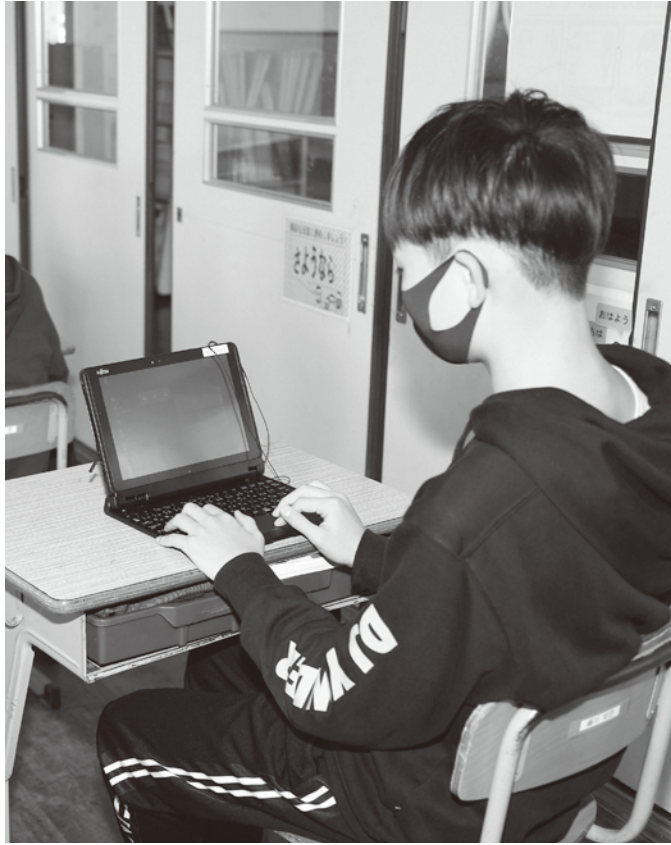
図変更及び修正などはあったか。

企画情報課長 基本構想、基本計画の変更はない。実施計画は、常に進捗を掌握し、ローリング方式で進捗管理をしている。

ことから大変重要なことと考えている。

図授業の平等性からみた時、オンラインでは個別の諸条件が家庭によって違う点で、平等性は保てるか。

教育長 家庭に通信環境がない場合には、Wi-Fiルーターの貸し出しを準備している。また、低学年児童も家庭でタブレットを使えるように学校で一定程度の操作ができる力をつけることと併せて家庭の協力をお願いしている。



▶タブレットを使った授業(唐原小)

図重要な実施計画を修正している。議会に説明すべきではないか。

企画情報課長 行政が抱えている様々な事業の進捗の修正を報告することは実務上難しい。

副町長 主要施策の変更で、議会への説明不足があった。今後は予算の時点ですっきり説明する。

図審議会の答申(随時、進捗状況や成果を広く公開する)の反映は。

企画情報課長 広報紙などで報告している。

図業務の遂行上、職員は総合計画よりも関連する個別の行政計画に気を取られることが縦割りのまずさ、弊害の一因になっていると感じるか。

副町長 例えば総合計画があつて、その中で子ども・子育て基本法に基づく子ども・子育て基本計画があり、それをベースに詳細な個別計画があると認識している。

図対面授業がベストであることは理解するが、非常時のリモート授業と同等評価できるか。

教育長 オンライン授業が長期になれば、履修としての評価は同列に扱わざるを得ない。ただし、履修の状況は、教師が個別に十分把握して評価することになると思う。

町長 対面授業かオンラインかの可否よりも、教師の熱量と環境整備が最も重要である。

コロナ禍、学校の実態と方向性は

図児童・生徒の登校日数、授業の時間数は足りているか。

教務課長 学校の休業などがないので、登校日数、授業時間数は確保されている。運動会、修学旅行なども実施された。

図特に卒業生と受験生の履修完了は可能か。

教務課長 今後、コロナの感染拡大がない限り、所定の履修は可能である。

図町長はサステナブル、持続可能な上毛づくりを提唱しているが、SDGsの対応は。

企画情報課長 SDGs、自治体DX推進など、時代に対応した要素、視点を可能な限り加味したい。

今後の新型コロナワクチン接種は

図3回目に向けての対応は。

子ども未来課長 2回目のワクチン接種から概ね8か月を経過した方が対象。従来と同様に来年2月以降をめどに接種を進める。

図ファイザー製とかモデルナ製の対応は。

子ども未来課長 両方が入ってくる。選択はできないと思われる。

図ワクチン証明の発行は。

子ども未来課長 外国に行かれる方、施設に行く時に必要な方など、子ども未来課で発行している。

図受験生、中学3年生に対する補習強化策や受入高校側との受験対応についての話し合いは。

教務課長 個別の三者面談進路相談の実施。個別指導や上毛塾での充実を図っている。

教育長 現状では、コロナ禍のため、出題範囲を少なくするなどはない。受験生が感染した時などには、追試験の考慮をしているとのことである。

図学校現場は、今後もコロナ禍において、緊張感の持続と緊急臨時対応体制が求められる。その行動マニュアルは。

教務課長 文科省の示す衛生管理マニュアルに即して、コロナ禍におけるあるべき学びの姿で学校運営に努める。有事においては、各学校が作成している教育指導計画書に位置づけている安全管理・危機管理マニュアルで対応する。校長会において周知している。



廣崎 誠治 議員

屋外スポーツ等施設の整備方針は

教務課長

視察などを含め検討している段階



動画へGO!

▶整備方針が検討されている
大池公園多目的運動広場



図屋外スポーツ・遊具等施設の整備方針の検討状況について、新体育館も着工しており、構想を考える時期と思うが、テニスコートなどの整備についての考えは。
教務課長 テニスコートなどの整備については、現在、視察などを行うようにしており、テニスコートにするのかを含め、競技種目については検討中である。

図町内の農道舗装は、ひび割れ、陥没などが各地で見受けられる。部分的に応急修理している箇所がかなり多くあり、抜本的に舗装改修工事を行うべきと思う。道路予算は増額しているようだが、本町の道路状況を見れば、十分な予算とはいえない。応急の対策ではなく、全面舗装による町道の整備・修繕を行ってはどうか。

町道の整備・修繕は

図中津市の大貞公園にあるような遊具の設置について、以前に質問した際、大池公園のトイレ整備が完了した後の段階になるだろうという答弁であった。大池公園周辺で大きな遊具を設置するという考えは。
開発交流推進課長 遊具については、設置の可否を含めて検討するという答弁であったかと思う。設置の可否を今年度中に検討し、設置するようであれば、来年度予算に反映していきたい。

図道路の不具合などについてスマートフォンやパソコンから手軽に通報できるサービスを他県の自治体で導入している。道路の損傷を発見したとき、365日、24時間、いつでも

図道路パトロールは行っているか。
建設課長 建設課の職員において定期的にパトロールを行っている。職員には現場に行く際、特に町道については行きと帰りで違う路線を通るように指示を出している。また、他課の職員が町内に出た場合は、舗装が傷んだところがあれば連絡するようにしている。

〈その他の質問事項〉
○黒川の土砂堆積除去は
○高齢者など弱者の医療機関受診。買い物など移動手段の拡充について
○高齢者のための安全運転システム設置費補助について

岩花 寛之 議員

森林資源を宝に活用すべきでは

町長

まずはブランド力を向上したい



動画へGO!



更なる森林資源の活用を

図林業振興について、どのようなメリットを期待しているか。
産業振興課長 林業就業者の雇用創出、森林所有者や林業従事者の所得の増加、また定住人口につながる、中山間地のにぎわいが生まれてくることを認識している。

図町内のヒノキを伐採しても集積場以降の流通形態で「京築ヒノキ」や「上毛町の木材」というブランド力が失われていると感じるが認識は。
産業振興課長 森林組合に問い合わせしたが、中津、日田、浮羽の製材所に流通しており、その後の詳しい経路は把握していないのが実情である。

図牛肉や野菜のトレサビリティと違い、木材に関しては産地が不明で、消費者にとっても地元の木材を使うという感覚が生まれていないと感じるが、地元材のブランドを打ち出す



▶町有林での作業（伐採・搬出）

ことが必要では。
産業振興課長 木材の活用については、公共施設などに積極的に使用すると国の通達や基本方針などもあり、新体育館には東上の町有林のヒノキを使用する予定である。今後も京築ヒノキなどのPRを図っていきたい。

高校通学支援や奨学金拡充を

図公共施設だけではなく、近隣の工務店や住宅メーカー、DIYショップなどと提携し、一般住宅の新築やリフォームでも使用できる環境整備を行えないか。
町長 ブランディングができれば勝負にならないと思う。担当課も検討中であり、もう少し時間をもらいたい。

図上毛町では高校の通学に10キロ以上の自転車通学が必要な地域が多いことが、定住の妨げになっていないか。
教務課長 通学に対する費用面の補助や通学バスの運行など検討を重ねているが様々な課題があり実施に至っていない。今後も引き続き検討したい。

図町の奨学金の受付や支給決定を早くすることで申請増加を図れないか。また、給付型の

奨学金や、Uターンされた方に返還金のサポート事業などの検討は出来ないか。
教務課長 近隣市町の状況を情報収集し、支給件数増につながるよう奨学金運営審議会で協議していきたい。

若者に行政・地域活動へ参画を

図上毛町に住んでいる高校生、大学生と町や地域が接する機会を持つことが愛郷心を育むことになると思うが検討は。
企画情報課長 情報の把握・発信を中心に若者が自発的に取り組むことへの支援や、若者世代が興味を引く社会貢献や社会参加ができる取り組みなどを紹介したい。



も通報でき、詳細な住所が分からなくても、スマートフォンなどで撮影した写真データに位置情報を添付すれば、役所でも内容や位置を把握し、速やかに対応できる。このような道路等修繕システムの導入の検討を行ってはどうか。
建設課長 道路の損傷箇所については、自治会長からも常に連絡をもらっており、場所などすぐに分かる状況である。また、住民の方からの連絡でも場所などは確認できており、不明なところは出向いて確認し補修している。システムの導入については、今後、他の自治体などを参考にしながら検討を進めていきたい。

常任・議会運営委員長・副委員長研修会報告 議会力を向上させ地域発展の礎に！

議会運営委員会 副委員長 宮本 理一郎

7月16日(金)、福岡国際会議場で福岡県町村議会議長会主催の研修会に当議会から6名が参加しました。

中村 健(なかむらけん)氏(早稲田大学マニフェスト研究所事務長)を講師に招き「平時にできないことは緊急時にできない」をテーマに参加者に対し大変有意義な提言を頂きました。

コロナ禍によって、議会視察を見送った議会が70%以上、代替手段としてオンライン視察を実施した議会が25%の実状であり、議会・議員の調査活動の停滞が懸念される事態となっています。そのような状況下で、議会力の差は地域の差となって、地域の未来を左右することとなります。平時から地域を創るのが議会であるということを認識した活動を展開することが大切です。「議会・行政は共に、地域の経営者であることを自覚し、「経営」は、ゴールを定めて、構想を描き(経)・実行する(営)ことである。」ということです。

議員各々が、日々研鑽努力を重ね、そして、まとめ、「チーム議会」として議会力の向上を目指すことが地域発展の礎となります。それは、平時はもとより緊急時に於いても、対処・対応が十分可能な議会に成熟することです。

「議会改革」や「議会のICT活用」「情報公開・共有」などのテーマについて、大変有意義で貴重な提言をいただき、今後の議会活動に活かしていきます。

町村議会広報研修会 理解・共感を得てもらえるような広報紙を！

議会広報特別委員会 委員 高西 正人

11月17日(水)、博多サンヒルズホテルで町村議会広報研修会が開催され、広報委員5名と事務局で参加しました。

講師は、上場企業の広告媒体の制作に長年携わる一方で、行政・議会を中心とする広報セミナーの講師を務めている吉村 潔(よしむらきよし)氏でした。

午前の部では、住民に信頼・共感される議会広報紙づくりと題し、議会のアクションと広報、読みたくなる紙面づくりのヒント、議会広報のバリアフリー化の講義を受けました。情報を届けるだけでは、理解・共感を得られないので、議会と住民の方々との接点を拡大する努力が大切だという事を、様々な事例を基に勉強しました。

午後の部は、議会広報クリニックで、こうげ議会63号(2021年8月発行)を参加者全員の前で評価をしていただきました。良いところ、悪いところを理由を交えながら教えていただき、今後の紙面づくりに役立つ指摘を多々受けました。

議会広報を引き受けてくださっているデザイナーさんとの情報共有によるブラッシュアップを重ね、読みやすい紙面づくりに努力し、簡潔明瞭な文章で、届けるだけでなく、理解・共感を得てもらえるような広報紙づくりに努力しなければいけないと考えさせられた研修会でした。



茂呂 孝志 議員

人口1万人実現の年次計画と財源は

町長

現段階で具体的な説明は控えたい



町長 現段階で具体的な説明は控えたい。令和4年度分については、当初予算で十分説明したい。

図 町長の後援会事務所が告示前に作成したチラシに2040年人口1万人を目指すと言われている。この実現のため、今後4年間の年次計画と財源は。

図 同じチラシに、これから町長が取り組む10項目の中に町民の命と健康を守る政策や子育て、教育支援がないが。

副町長 近隣自治体と比べると教育・福祉は高いレベルにあると認識している。さらに磨きをかけて進めていきたい。

図「サテライトオフィスを町のシンクタンク(頭脳集団)」とあるが、具体的に説明を。

町長 プロのクリエイターが入れば町の活性化につながると思う。

図 サテライトオフィスの誘致も企業誘致の一環であり、シンクタンクのように外部に任せ

人口増につなげた上毛彩葉の分譲地



るのではなく、町づくりは住民参加で進めてほしい。町長 企業誘致には住民も巻き込んで行う。

イオニアカード PLUSの 購入について

図 カード購入の予算化にあたって、上毛町文書管理規程第14条(起案理由、関係法令、事実の調査)に基づいて作成された起案文書の決裁がなされていないが。

総務課長 文書管理規程の記載事項は、あくまでも原則であり、起案文書については、文書管理規程に基づく専決処分を行う上での体裁は整っている」と理解している。

図 消費者庁がこのカードの製造元に措置命令を发出している。町が文書管理規程に基づいて適正に事務処理していれば地方自治法第2条第16項(法令違反の事務処理禁止)に抵触しているカードの購入(3168万円)は避けられたのではないか。

総務課長 消費者庁の優良誤認の措置命令を受けたのは令

和2年12月22日であり、起案をおこなう時には、その事実を承知していない。

図 民法第709条で代金の返還(一部)を業者に請求すべきではないか。

総務課長 消費者庁の措置命令は、広告表示についてのものであり、カード自体の製品に対するものではない。イオンの発生については十分確認しており、契約上の条項を遵守された履行がなされている。

〈その他の質問事項〉

○ 国保税の負担軽減について
○ 大迫トンネル内の照明点灯と歩道のバリアフリー化について

